

令和5年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

中学校（美術）問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

注 意

- 1 この問題は9問5ページで、時間は60分です。
- 2 解答用紙は、別紙で配布します。「始め」の合図で始めてください。
- 3 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 4 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 5 解答用紙を持ち出してはいけません。

令和5年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

中学校美術

1

中学校学習指導要領「美術」について、次の(1)～(3)に答えよ。

- (1) 次は、「第1 目標」の一部である。(①), (②) に入ることばを、下のア～カからそれぞれ一つ選び、記号で記せ。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、(①) などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や(②) に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

- | | | |
|-----------|----------|---------------|
| ア. 造形的な視点 | イ. 美術作品 | ウ. 美術の学習 |
| エ. 美術文化 | オ. 美術の働き | カ. 美術を通じた国際理解 |

- (2) 次は、「第2 各学年の目標及び内容 [第1学年] 2 内容 A表現(1)イ」である。(①) にあてはまることばを、下のア～エから一つ選び、記号で記せ。

- (ア) (①) 目的や条件などを基に、対象の特徴や用いる場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練ること。
- (イ) 伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容などから主題を生み出し、分かりやすさと美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練ること。
- (ウ) 使う目的や条件などを基に、使用する者の気持ち、材料などから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練ること。

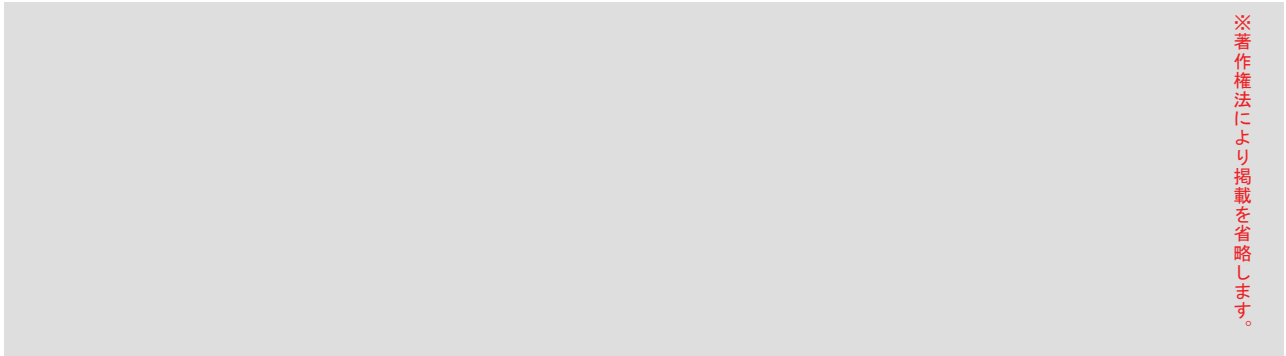
- | | |
|------------|-------------|
| ア. 構成や装飾の | イ. デザインや工芸の |
| ウ. 豊かに生活する | エ. 人と社会をつなぐ |

- (3) 次は、「第2 各学年の目標及び内容 [第2学年及び第3学年] 3 内容の取扱い」の一部である。下の(①) にあてはまることばを記せ。

(2) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、発想や構想に関する資質・能力や鑑賞に関する資質・能力を育成する観点から、[共通事項] に示す事項を視点に、(①) で構想を練ったり、言葉で考えを整理したりすることや、作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合うなどして対象の見方や感じ方を深めるなどの言語活動の充実を図ること。

2 次の(1)～(3)に答えよ。

(1) 次の作品A, Bの作者が属する画派の名称を, それぞれ記せ。

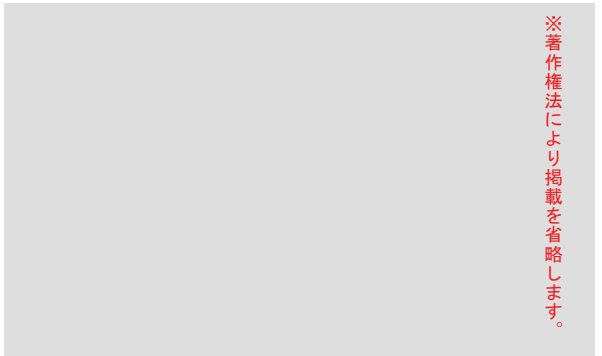


※著作権法により掲載を省略します。

(2) 次は, 漆工芸の技法について説明したものである。下の(①)にあてはまることばを記せ。なお, (①)には同じことばが入るものとする。

<p>奈良時代に始まったとされる技法で, 器の表面に漆で模様を描き, 金や銀の金属粉, 色粉を付けて研ぎ付着させる日本独自の漆工芸を(①)という。</p>	<p>※著作権法により掲載を省略します。</p>
---	--------------------------

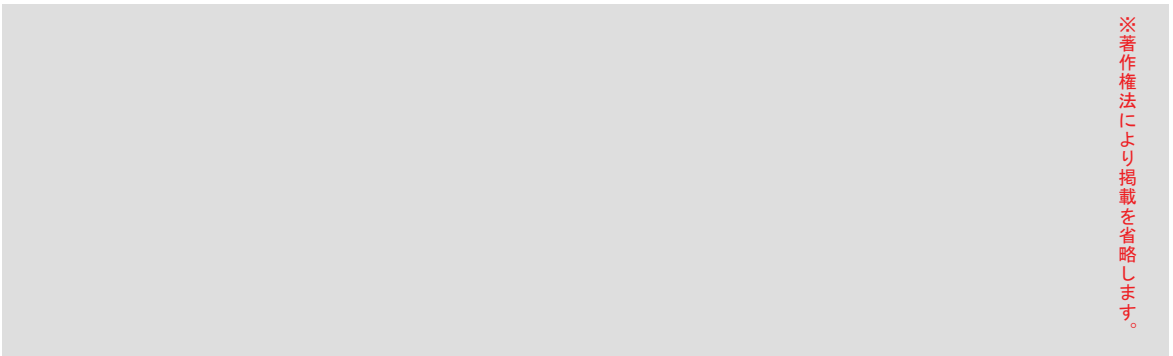
(3) 19世紀後半に日本の浮世絵や工芸品が西洋の美術などに影響を与えた現象をジャポニスムと呼ぶ。その影響を受けたとされる, 右の作品の作者を記せ。



※著作権法により掲載を省略します。

3 次の(1)～(2)に答えよ。

(1) 次の建築A, Bをデザインした人物の名前を, 下のア～カからそれぞれ一つ選び, 記号で記せ。

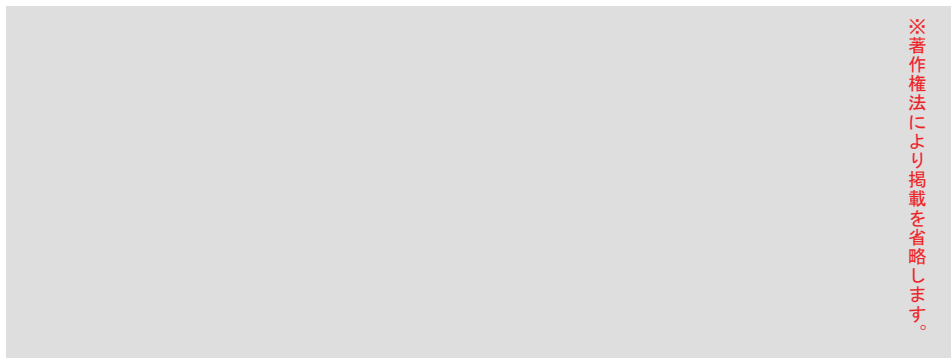


※著作権法により掲載を省略します。

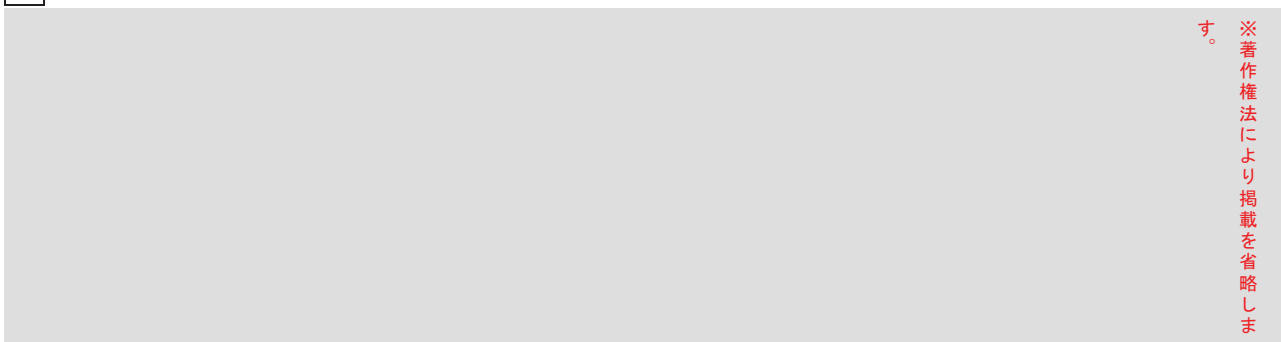
- ア. ヘリト・トーマス・リートフェルト
- ウ. ヴァルター・グロピウス
- オ. ミース・ファン・デル・ローエ

- イ. ル・コルビュジェ
- エ. ポール・ヘニングセン
- カ. フランク・ロイド・ライト

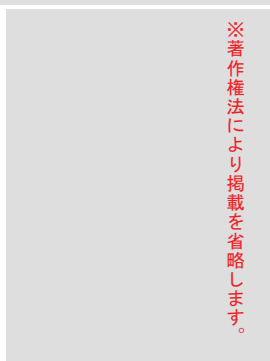
(2) 次の建築C, Dをデザインした人物の名前を記せ。



4 次の作品A～Dは、パブロ・ピカソの作品である。下の(1)～(3)に答えよ。



- (1) 作品A～Dを、制作された年代の古い順に並べ、記号で記せ。
- (2) 作品Aのように、風景や人物、静物をさまざまな角度から捉えて、それらを一つの画面に統合する表現方法を何というか、記せ。
- (3) 右の作品の作者はパブロ・ピカソと交流し(2)の表現方法を共に生み出した。その人物の名前を記せ。



5 次の(1)～(4)に答えよ。

(1) 次の表は、土器、磁器、^{せっき}炆器、陶器の特徴をまとめたものである。陶器にあてはまるものを表中のア～エから、一つ選び、記号で記せ。

表

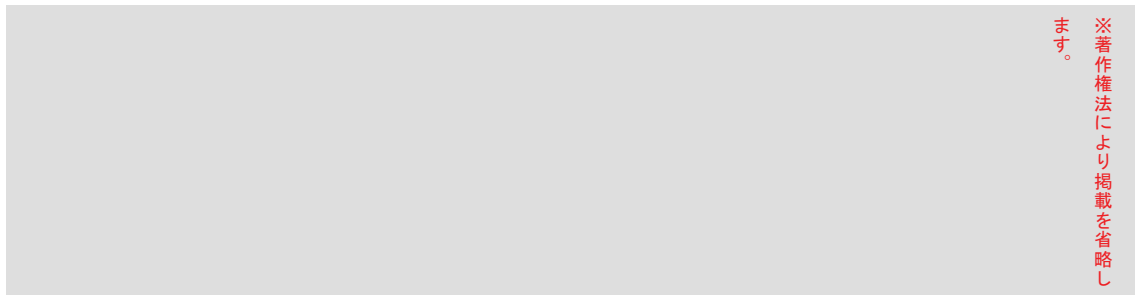
土の種類と特徴	ア	イ	ウ	エ
原料	土	土(風化堆積した粘土)	土	陶石
焼成温度	600-800度	1200-1300度	1100-1250度	1300-1400度
焼成方法	酸化焼成	酸化焼成	酸化・還元焼成	還元焼成
指で弾いた音	鈍く低い音	高い音	鈍い音	金属的で高い音
主な産地や例	植木鉢	須恵器・備前・常滑	奈良三彩・楽焼織部	伊万里・鍋島有田

- (2) 粘土内部の気泡を取り除くことを目的とした練り方を何というか、記せ。
- (3) 粘土同士をつなぎ合わせる役目をする、粘土を水で溶いたものの名称を記せ。

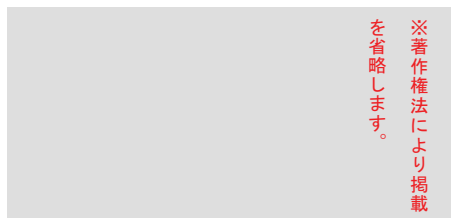
- (4) 陶磁器にかけることで、耐水性を高めたり、さまざまな模様を描いたりすることができるガラス質の皮膜のことを何というか、名称を記せ。

6 次の(1)～(3)に答えよ。

- (1) 次のA, Bは、それぞれの絵巻物の一部を表したものである。A, Bの作品名を記せ。

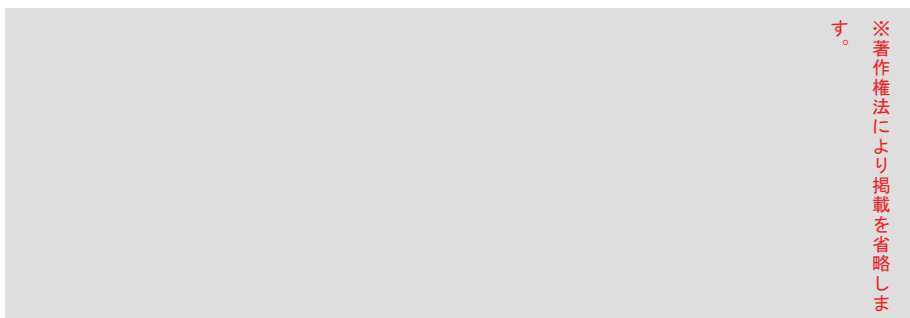


- (2) 右のCは、ねじった輪ゴムを両手で伸ばし、中央の紙を回転させることで、残像現象が起こり、表と裏の絵が重なって見えるようになる玩具である。この玩具の名前を、下のア～エから一つ選び、記号で記せ。



- ア. ゴートロープ イ. ソーマトロープ
ウ. プラキシノスコープ エ. フェナキストスコープ

- (3) 次のD, Eのアニメーション作品を制作した監督の名前を、下のア～オからそれぞれ一つ選び、記号で記せ。



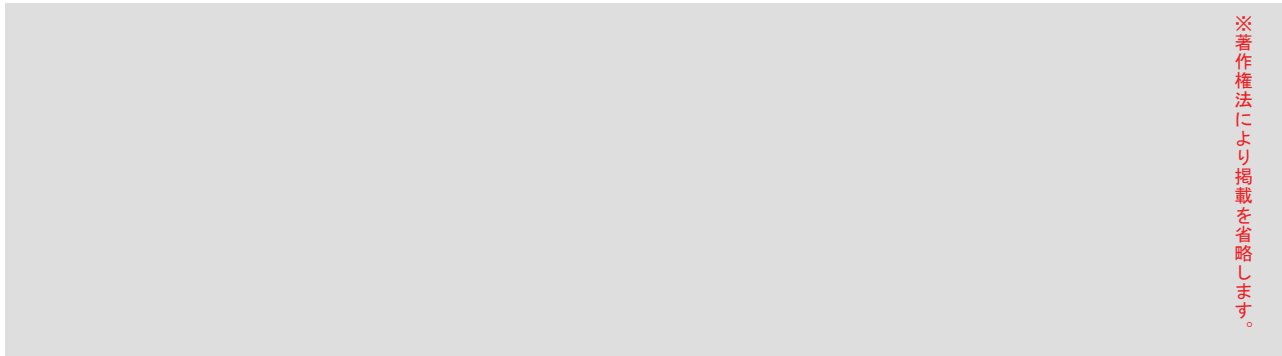
- ア. 細田 守 イ. 大友 克洋 ウ. 山村 浩二 エ. 庵野 秀明 オ. 新海 誠

7 次の(1)～(3)に答えよ。

- (1) 色相環で向かい合う位置にある色の関係のことを何というか、記せ。
- (2) 太陽光をプリズムに通すと、波長の長さの違いにより分光される。人間が色として認識できる光の内、最も波長が長い色と最も波長が短い色は、それぞれ何色になるか、記せ。
- (3) 明度の高い色は膨張色で、実際よりも大きく見えたり、明度の低い色は収縮色で、実際よりも小さく見えたりする。色の膨張と収縮を生徒が理解できるような身近な具体例を記せ。

8 次の(1)～(3)に答えよ。

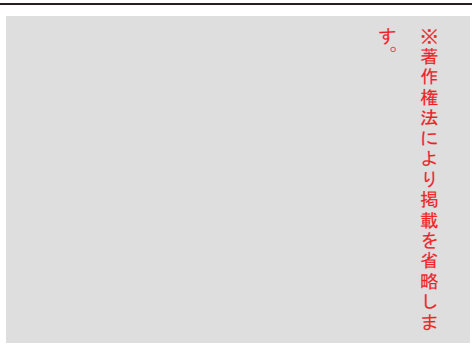
(1) 仏像は、「如来」、「菩薩」、「明王」、「天部」の4種類に分けることができる。次のア～オの仏像は、それぞれ4種類のどれにあてはまるか、あてはまるものの記号をすべて記せ。



(2) 仏像エ，オが安置されている寺院の名称を，それぞれ記せ。

(3) 次の文は，密教の美術について説明したものである。下の(①)にあてはまることばを記せ。なお，(①)には同じことばが入るものとする。

平安時代，密教寺院では災厄を避け現世の幸福を求めたり，呪法伝授により真理を会得したりするためにかじきとう加持祈祷が重視され，密教の世界観を図で表した，(①)が用いられた。



9 山梨県内の小中学校においては，G I G Aスクール構想により整備された1人1台端末が様々な場面で活用されている。美術科の授業においても，生徒がより意欲的な態度で活動に取り組むことができるよう，1人1台端末を工夫して活用することが求められる。美術科の授業において，1人1台端末を効果的に活用する方法を，具体例を挙げて記せ。なお，実施時期や時数の設定は自由とし，美術室にはW i - F i環境があるものとする。また，生徒には1人1台端末があり，持ち帰らせることもできるものとする。